

2026 年 10 月 5 日

株式会社 TBS ホールディングス

株式会社 電通グループ

TBS と電通グループが共同で
プロピックルボールチーム「**THE DOTS TOKYO**」を設立し、
アジア最高峰プロリーグ「**MLP Asia 2026**」に参戦

ー 2 社で同リーグ日本ラウンドを主管し、国内ピックルボール産業のさらなる成長を推進 ー

株式会社TBSホールディングス（所在地：東京都港区、代表取締役社長：阿部 龍二郎、以下「TBS」）と電通グループ（本社：株式会社電通グループ、拠点：東京都港区、代表者：代表執行役 社長 グローバルCEO 佐野 傑）のグループ横断のイニシアティブ「電通スポーツ&エンターテインメント」は、日本発のプロピックルボールチーム「THE DOTS TOKYO」を共同で設立し、同チームは2026年に初開催となるアジア最高峰のプロピックルボールリーグ「MLP Asia 2026」に参戦します。また、両社は、2026年11月13日（金）に日本で開幕する同リーグの日本ラウンド（日本開催の試合）を主管します。

■「**THE DOTS TOKYO**」について

「THE DOTS TOKYO」は、日本から世界へ挑むプロピックルボールチームです。
チーム名にある「THE DOTS」には、“Connecting the dots”の精神が込められています。一つひとつの点（Dots）とは、異なるバックグラウンドや個性を持つ選手、そしてスタッフやファンといった仲間たち。今はまだ点として存在する一人ひとりの情熱や過去の経験が、ピックルボールというスポーツを通じてつながり合うことで、やがて大きな熱狂となり、新しいスポーツの文化をつくりあげていく、という思いを表現しています。

LOGO CONCEPT

DOTS CONNECT. ONE TEAM.

D・O・Tの文字を、選手・スタッフ・ファンが肩を並べる三人の姿へ。
青いドットは、昼と夜、伝統と未来、ローカルとグローバル。
それぞれが溶け合い、東京の街が青に染まる TWILIGHT の瞬間を象徴。
異なる人や価値観がつながり、ひとつのチームから新しいカルチャーが
生まれていく姿を描いた。

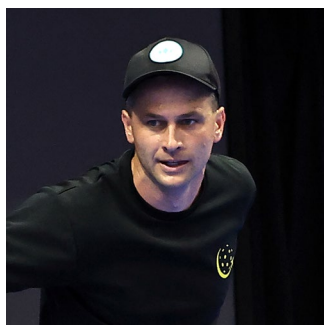


TBS および電通グループは、両社の協業により「THE DOTS TOKYO」の共同運営体制を構築し、「MLP Asia 2026」における勝利に向けた挑戦を全面的にバックアップします。

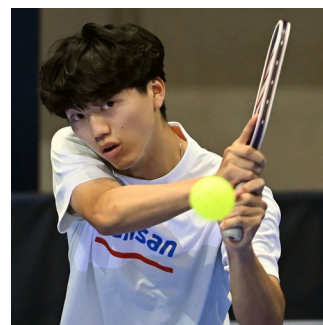
「THE DOTS TOKYO 2026」選手（全 6 選手）



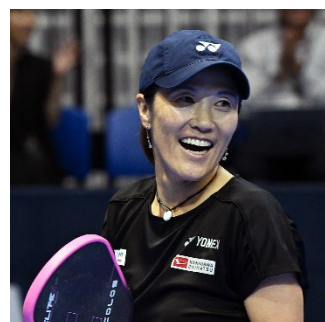
〔キャプテン〕
船水 雄太 選手



Daniel Moore 選手



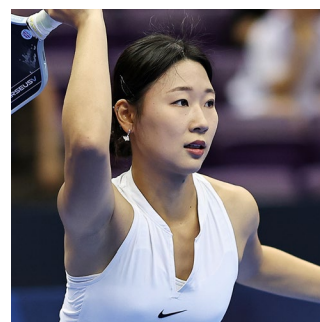
畠山 成冴 選手



藤原 里華 選手



吉富 愛子 選手



Mihae Kwon 選手

米国を発祥とするMajor League Pickleball（MLP）のアジア版として、2026年11月13日（金）～12月12日（土）にかけて開催される「MLP Asia 2026」は、アジアにおけるピックルボールの競技価値向上と市場拡大を目的に新設されるプロピックルボールリーグであり、トッププロ選手による国際競技を観戦する本格的な「Seeスポーツ（見るスポーツ）」市場の拡大が期待されています。

ピックルボールは米国を中心に世界的な盛り上がりを見せており、その競技人口は、日本においても2025年度は前年比約5倍※¹、2026年は前年比約7倍の約33万人※²と推計されます。こうした急激な市場成長を背景に、競技環境の整備や選手育成、ファンコミュニティの形成、スポンサーシップ市場の拡大など、競技の普及と産業の持続的な発展に向けた取り組みが求められています。

TBS と電通グループは、「THE DOTS TOKYO」の運営・ブランド価値向上、MLP Asia 2026 日本ラウンドの主管、スポンサーシップの推進やマーケティング活動も担うとともに、競技団体やパートナー企業との連携を通じて、立ち上げフェーズにある日本のピックルボール産業全体の発展と価値向上に取り組めます。

今後もピックルボールの持つ様々な可能性を広げるとともに、スポーツとエンターテインメント領域における新たな価値創造を推進し、人々や企業、社会をつなぐ豊かな文化とコミュニティの形成に貢献してまいります。

■ リーグ概要

リ ー グ 名	MLP Asia 2026
主 催	United Pickleball Association Asia Pte. Ltd.
日本ラウンドの主管	株式会社TBSホールディングス 株式会社電通グループ
開 催 期 間	2026年11月13日（金）～12月12日（土）
参 加 チ ー ム	THE DOTS TOKYO（日本）、Dragon Warriors（中国） Manila Helios（フィリピン）、Viet Panthers（ベトナム） Hong Kong Cannons（香港）、Malayan Stripes（マレーシア）
試合日程／開催地 （ラウンド）	【グループステージ】 ■2026年11月13日（金）／日本ラウンド ・第一試合：THE DOTS TOKYO（日本）対 Manila Helios（フィリピン） ・第二試合：THE DOTS TOKYO（日本）対 Malayan Stripes（マレーシア） ■2026年11月14日（土）／香港ラウンド ・第一試合：Hong Kong Cannons（香港）対 Viet Panthers（ベトナム） ・第二試合：Hong Kong Cannons（香港）対 Dragon Warriors（中国） ■2026年11月20日（金）／フィリピンラウンド ・第一試合：Manila Helios（フィリピン）対 Dragon Warriors（中国） ・第二試合：Manila Helios（フィリピン）対 Hong Kong Cannons（香港） ■2026年11月21日（土）／ベトナムラウンド ・第一試合：Viet Panthers（ベトナム）対 Malayan Stripes（マレーシア） ・第二試合：Viet Panthers（ベトナム）対 THE DOTS TOKYO（日本） ■2026年11月27日（金）／中国ラウンド ・第一試合：Dragon Warriors（中国）対 THE DOTS TOKYO（日本） ・第二試合：Dragon Warriors（中国）対 Viet Panthers（ベトナム） ■2026年11月28日（土）／マレーシアラウンド ・第一試合：Malayan Stripes（マレーシア）対 Hong Kong Cannons（香港） ・第二試合：Malayan Stripes（マレーシア）対 Manila Helios（フィリピン） 【ノックアウトステージ】 ・2026年12月11日（金）準決勝戦 ・2026年12月12日（土）決勝戦

※1： 「ピックルボールの国内競技人口を調査 1年で約5倍の急増—4.5万人に到達」（ピックルボールワン、2025年5月14日）

<https://pickle-one.com/news/news-population/>

※2： 「【日本のピックルボール市場調査 2026】競技人口 33 万人・潜在 1,189 万人—急拡大する新興スポーツの実態」（ピックルボールワン、2026年8月14日）

<https://pickle-one.com/research/2026-competitor-population/>

(参考) 「TBS イノベーション・パートナーズ、ピックルボール事業を展開するピックルボールワンへ出資」
(TBS イノベーション・パートナーズ合同会社、2026 年 4 月 7 日)
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000022.000010013.html>

「電通スポーツ&エンターテインメント、ピックルボールワンへの出資を通じピックルボール産業の成長基盤構築を支援」(株式会社電通グループニュースリリース、2026 年 4 月 7 日)
<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/001641.html>

以 上

【本事業に関する問い合わせ先】

株式会社 TBS ホールディングス 事業投資戦略局事業投資戦略部
TEL：03-3746-1111(代表)
Email：contact@thedotstokyo.com

株式会社電通グループ グローバルビジネス開発オフィス「電通スポーツ&エンターテインメント」
担当 中野、永尾
Email：group-cc@dentsu.com

【メディアからの問い合わせ先】

株式会社 TBS ホールディングス 事業投資戦略局事業投資戦略部
TEL：03-3746-1111(代表)
Email：contact@thedotstokyo.com

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、原田
Email：group-cc@dentsu.com